

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

8月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

城北高等学校との包括的連携協定の活動実績とこれから

令和5年5月、山鹿市民医療センターと城北高等学校は包括的連携協定を締結しました。この協定は、地域医療人育成、地域保健福祉活動の推進を図ることを目的としています。山鹿市の中で、看護師の育成や福祉活動を協力し行っていくことで、山鹿市の未来に大きく貢献できる協定であると考えております。

《城北高等学校》

令和5年度は「実習を含む看護教育及び教育に関すること」を重点的に取り組みました。その一つとして、山鹿市民医療センターで看護教員の臨床研修を実施させていただきました。臨床の現場で看護師に同行し最新の医療・看護を理解することで、学生

臨床指導者からも「学生が学校でどのように演習をしているのか知ることができ、今後の実習指導に活



への実習指導の充実が図れるとともに、臨床指導者と教員が日頃の実習指導に関する情報共有を行う有意義な時間を持つことができました。

また、実習前の看護演習指導を臨床指導者と合同で本校にて実施いたしました。演習に参加した学生は、「臨床看護師の思考とケアの実際を学ぶ事ができ、今後も実施してほしい」と語っています。また、

かすことができると感じた」などの意見が寄せられました。

包括的連携協定活動はスタートしたばかりではありませんが、臨床指導者と教員との交流・連携により、臨床指導者の教育実践能力の向上と教員の看護実践能力の向上につながったのではないかと感じております。

山鹿市民医療センターと城北高等学校は今後も連携を深め、微力ではありますが、地域に貢献できる医療人育成を目指してまいります。

(文責：城北高等学校 看護専攻科 赤星 和美)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

城北高等学校との包括的連携協定の活動実績とこれから…………… P 1・ P 2

日本肝胆膵外科学会特別会員に推薦されました… P 2

医療最前線 (158)…………… P 3

外来担当医表 (8月)…………… P 4

《山鹿市民医療センター》

令和5年度は、城北高等学校の協力のもと様々な取り組みを行うことができました。

今まで、城北高等学校の看護学生が当センターへ臨床実習に来られていましたが、初めて看護教員が臨床研修に来られました。看護実践の場で、新しい看護技術や知識をシャドウイングで見学されたことで、看護教員に必要な看護実践能力の向上に繋がったと思います。

また、当センターの臨床指導委員が、城北高校での看護演習指導へ参加させていただきました。看護学生は、実習前に臨床指導者と交流することで実習への不安の軽減に繋がり、臨床指導者も看護学生への臨床での指導に活かすことができいております。

その他にも、当センター主催の看護研究発表会や看護の日のイベント、火災訓練へ参加していただきました。様々な体験を通して、看護学生の方々に地域住民の健康を守る活動や臨床現場における災害対



策の理解を得ることなどを目的とし、看護教員の方々との連携により実現することができました。

これからも城北高等学校と様々な体験や交流を通して、地域に貢献できる医療人育成を目指し、地域保健福祉活動の推進を図っていきたく思います。

(文責：副看護部長 辻崎 小百合)

この連携協定を通じて地域の健康と福祉に貢献できることに改めて感謝の意をお伝えするとともに、引き続き、皆様のご支援とご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日本肝胆膵外科学会の特別会員推戴状を授与されました

別府 透 病院事業管理者が日本肝胆膵外科学会より特別会員に推戴されました。

本学会は肝胆膵外科医療の向上と発展を目指す、国内最高峰の専門学会のひとつで約3,600名の会員を擁しています。手術手技の研鑽、治療指針の作成、専門医育成等、まさに肝胆膵外科を先導する学会です。その分野での活躍、業績、関連プロジェクトへの貢献等を高く評価された結果、遠藤 格学会理事長からの推挙により別府事業管理者が特別会員に選出されました。



6月に開催された第36回日本肝胆膵外科学会にて特別会員の推戴状授与がとり行われ、スタジアム（エディオンピースウイング広島）で賞状と盾を受領されました。特別会員は今会期においては唯一の選出です。

この榮譽を糧に、県内有数の肝胆膵領域の診療施設として、当センターでの診療と地域への貢献を継続していきたく思います。

(文責：院長 石河 隆敏)



医療最前線 (158)



山鹿での完結を目指す肝がん治療

山鹿市民医療センター
事業管理者・外科
別府 透

今回は肝がん治療の紹介をさせていただきます。私は2016年の熊本地震の年に山鹿市民医療センターに赴任しました。肝疾患、特に肝がんの治療を専門としています。着任後すぐに、肝切除、局所焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法が可能な「肝がん集学的治療グループ」を立ち上げました。2020年には多職種による「がん総合的診療チーム」を構築し、薬物療法、緩和ケア、がんリハビリテーション、栄養療法などができる体制となりました。さらに「がんセンターボード」や病理医を含めた「臨床病理カンファレンス」を毎月行ない、チーム全体のレベルアップに努めています。

8年間で肝切除170例(腹腔鏡下36例)、局所焼灼療法162例、肝動脈化学塞栓療法319例を施行しました(図1)。以前であれば圏域外の病院で治療を受けられるか、遠方のために治療を断念されたものと推測されます。肝細胞がん、大腸がん肝転移ともに、進行例まで積極的に治療を行っていますが、5年生存率は全国平均を10%~20%、上回っています。初期の肝がんは手術をせずに局所焼灼療法での根治が可能です。中程度の症例は、腹腔鏡下肝切除の良い適応です。高度進行例は薬物療法や血管造影下治療をまず行い、切除可能になった時点で肝切除を行っています。通常の治療が不可能な高度肝機能不良

例は熊本大学の移植外科と連携しており、本年度に2例の生体肝移植手術が無事に終了しました。当センターにおける集学的治療により、治癒が期待されている2症例を呈示します(図2)。いずれも以前であれば予後半年以内と考えられた症例です。肝胆膵外科高度技能医、内視鏡外科技術認定医、肝臓指導医・専門医、薬物療法専門医(非常勤)、などが在籍していることも当センターの強みです。

昨年9月には山鹿市民交流センターで肝がんのマイクロ波手術の全国研究会を開催しました。本年6月には、「大腸癌肝転移治療の“理論と実践”—熊本大学消化器外科、山鹿市民医療センターの経験から」(海鳥社)を出版しました。このように山鹿から全国に情報発信を行っています。さらに4月からは外科に肝胆膵外科手術の経験が豊富な増田医師が、熊本地域医療センターから加わり、盤石の体制となっています。

肝がんに関するご相談の際は、外科または消化器内科の外来受診をお願いします。治療方針は、患者さんの意向を踏まえううえで、消化器合同カンファレンスで決定しています。

図1 当センターでの肝がん治療数の年次別推移 (651例)

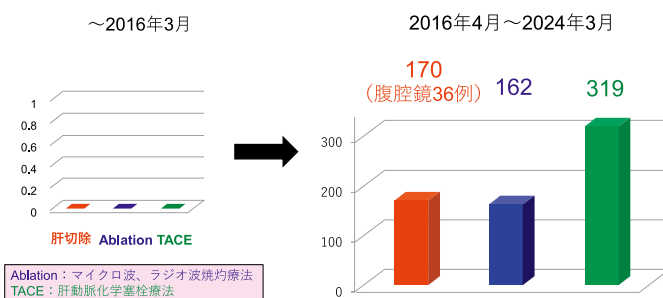
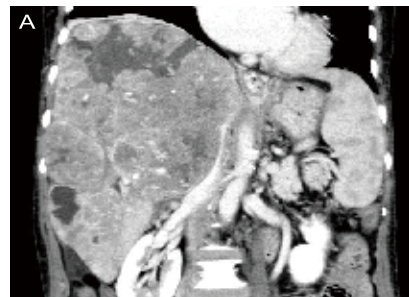


図2



A. 薬物療法、肝動脈化学塞栓療法、肝切除を行い5年無再発生存中の肝細胞がん症例



B. 薬物療法、局所焼灼療法、肝切除を行い5年生存中の大腸癌肝転移症例

外来担当医表

8月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※赤池 公孝	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹野 洋司	本原 利彦	竹野 洋司 中垣 貴志	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 中山 智子	中山 智子 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 井手 淳之介	工藤 智志 中原 達秀 井手 淳之介	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河隆敏 / 増田稔郎 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 増田 稔郎
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	小澄 将士	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	—	非常勤医師	非常勤医師	—	—
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:30) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00
◎当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来【予約制】

8月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本 英明	毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	
禁煙外来	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>